

♪お知らせや学校だよりのカラー版、行事予定等を学校ホームページで掲載しています。ご覧ください♪

高く 広く 強く 豊かに

学校だより



2024（令和6）年9月27日

伊賀市立阿山中学校

No.8 伊賀市千貝 10 番地

<http://www.iga.ed.jp/ayama-j/>

あやまパワー！！

あ…ありがとう♪ や…やってみよう♪ ま…まだ、なんとかなる♪

～全国学力学習状況調査 結果報告～

この調査は、毎年全国の小学6年生と中学3年生を対象に4月に実施しています。生徒の学力学習状況を把握し、授業や生活の改善に役立てることを目的として、生活習慣や学習環境に関する質問紙調査も実施しています。文部科学省から公表された調査結果に基づき、本校の状況と課題をお伝えします。

1. 教科に関する調査結果について

中学校では、国語・数学の2教科を毎年実施し、理科・英語を3年に1度程度で実施します。今年度の教科に関する調査は、国語と数学の2教科を実施しました。

<今年度の結果>

国語	数学
全国と比べて下回っている (全国比-5ポイント以上)	全国と比べてやや下回っている (全国比-2～-5ポイント以内)

<国語>

問題の内容を読み取ることや、選択肢の中から問題に対する解答を選ぶことはできている一方で、読み取った内容や得た情報を「自分の言葉でまとめる力」が弱いという結果になりました。

さらに、内容を要約したりまとめたりして「自分の言葉で表現する」問題が圧倒的に弱く、課題となっています。教科書の内容理解とともに、教科書以外の文章にも触れる機会を増やし、その内容について自分の言葉で説明をする活動を取り入れていきます。また、「書く」ことに苦手意識を持っている生徒も多いため、日常的にさまざまな題材で長短問わず文章を書かせる機会を増やし、書く練習をしていきます。

<数学>

2年生時に比べ、無回答率がかなり減り、試験に向かう姿勢ができつつあります。特にデータの活用領域では、成果も出ています。ただ、数と式領域では、すべての問題において、県よりも正答率が低く、問題によって正答率が大きく異なるので、分野ごとの理解に大きくムラがあると考えられます。数と式領域が弱いことから、抽象的な概念の扱いが苦手だということも分かりますので、以前の学習内容も復習しながら学習を進めていきます。

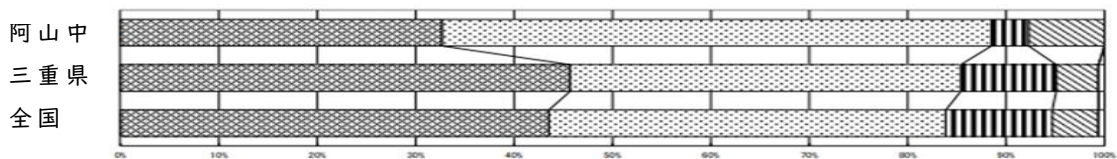
2. 生徒質問紙調査結果について

「生徒質問紙」は、アンケート形式で生徒一人ひとりが自分のことについて振り返りました。紙面の関係上一部になりますが、全国との比較から本校の特徴をお知らせします。グラフについては、阿山中生の強みと考えられる項目の文頭に「○」、課題と考えられる項目の文頭に「●」を表示しました。

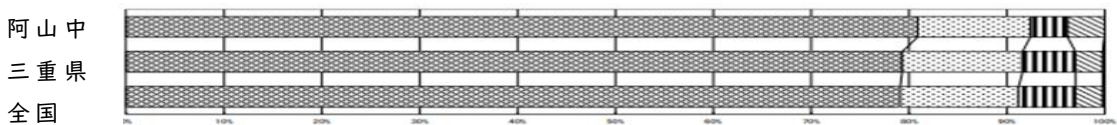
※それぞれの質問に対してグラフ左側から「1. 当てはまる 2. どちらかといえば当てはまる 3. どちらかといえば当てはまらない 4. 当てはまらない 5. その他 6. 無回答」の割合になっています。また、項目の【 】内は、「1」または「2」と回答している割合を示しています。

【本校の強み】

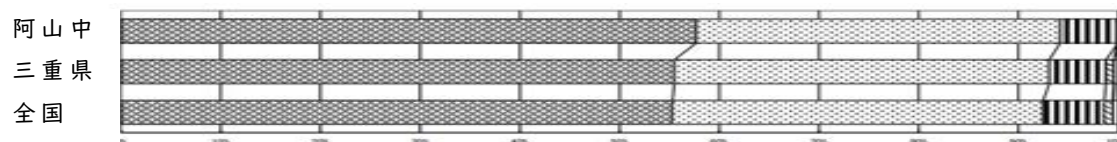
○学校に行くのは楽しいと思えますか。【88.5%】



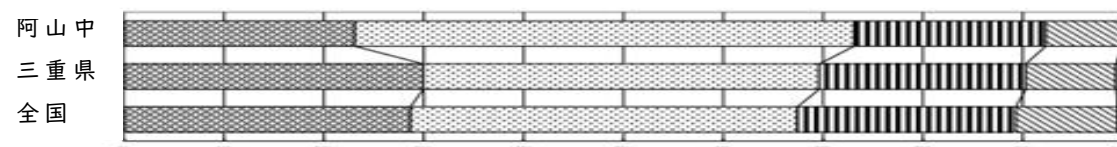
○毎日朝食を食べていますか。【92.3%】



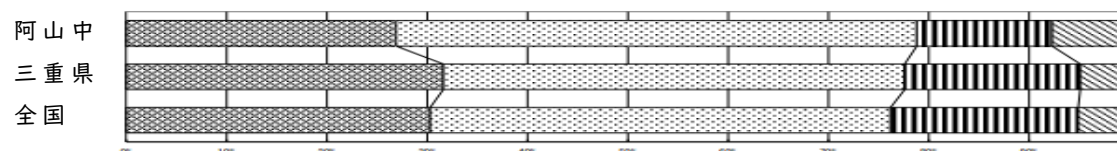
○毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。【94.2%】



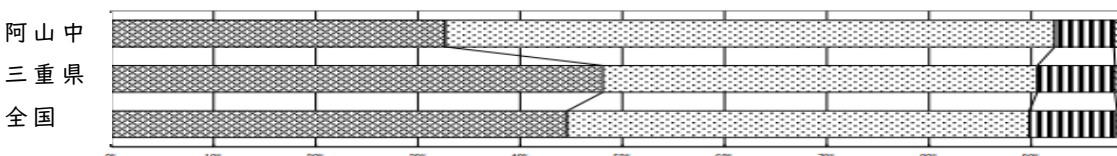
○困りごとや不安があるとき、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。【73.1%】



○自分と違う意見について考えるのは楽しいと思えますか。【78.8%】



○普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはよくありますか。【92.3%】



とりあげた項目以外では、国語・数学・理科などの教科に関する質問で、「教科の勉強は好きである」「勉強することは大切である」「授業はよく分かる」という項目で全国を上回る回答がありました。

また、PC・タブレットなどのICT機器を活用した授業についても「学習しやすい」「楽しく学べる」と肯定的に捉えている回答が多くありました。今後も、さらに生徒が興味や関心を持って「もっと学びたい」と思える内容や授業改善をめざしていきます。

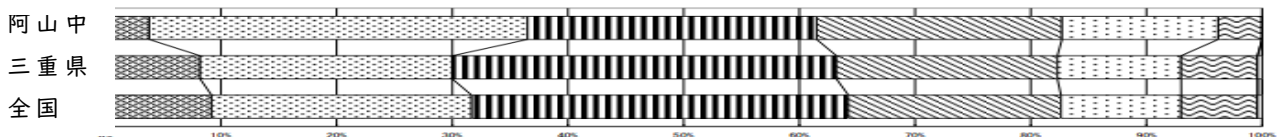
【課題】

今年度の大きな課題と考えられるのは、家庭学習の時間の少なさとゲームや動画視聴などスマホ利用時間の長さです。「学習することの大切さ」は、充分分かっているけれど、「学力を定着させるための努力はできていない」人が多いということがこの結果から分かります。学校生活では、意欲的に取り組めるようになってきているだけに大変もったいない状況です。

*2極化が見られます。
2時間以上の人が36.5%
に対し、1時間以内という人も38.5%います。

● 平日の家庭学習時間（塾やインターネット学習含む）

- 【①3時間以上：3.8%】【②2～3時間：32.7%】【③1～2時間：25%】
【④30分～1時間：21.2%】【⑤30分以内13.5%】【⑥全くしない：3.8%】

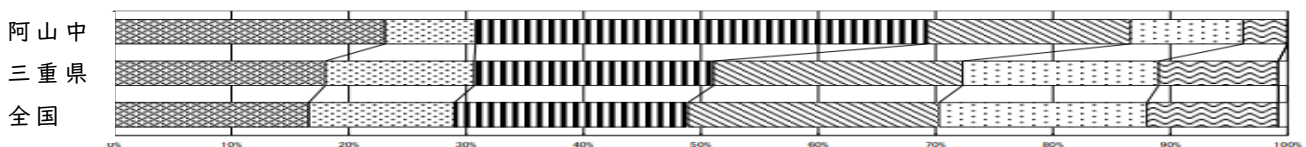


本校のマニフェスト目標は、「家庭学習平日90分以上、休日3時間以上」ですが、3年生の目標は、平日2時間以上、休日4時間以上です。今日から、今ここから改善していきたいと思えます。

● 平日のテレビゲーム（PC、スマホ、携帯式のゲーム含む）の時間

- 【①4時間以上：23.1%】【②3～4時間：7.7%】【③2～3時間：38.5%】
【④1～2時間：17.3%】【⑤1時間以内9.6%】【⑥全くしない：3.8%】

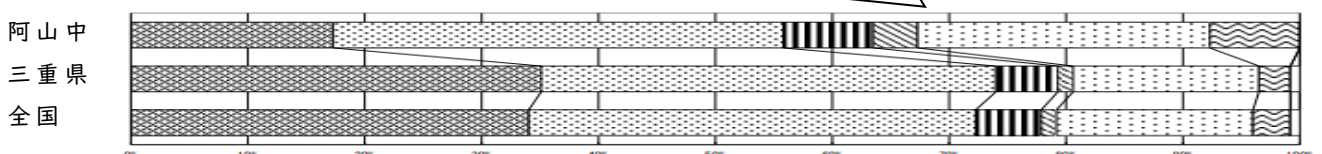
*2時間以上の回答が、
全国・県では50%前後の
ところ阿山中は69%



● 携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人との約束

- 【①きちんと守っている：17.3%】【②だいたい守っている：38.5%】【③あまり守っていない：7.7%】
【④守っていない：3.8%】【⑤約束はない：25.0%】
【⑥持っていない：7.7%】

*③④⑤をあわせると、36.5%の生徒が約束はあっても守ってなかったり、約束がないと回答



他にも「自分で学び方を考え、工夫することができる」や「地域や社会をよくするために何かしてみたい

と思うか」など自分から進んで何かをしようとする項目も全国と比較すると低い結果となりました。

能動的に社会に目を向けるためには、意識して新聞やニュースを見ても大事です。新聞は、関心のあ
る記事だけでなく興味のなかった分野に関する記事も目にします。そのことが、社会の大きな流れをつかむ
機会になったり、新しい視点から物事を見る目を育てたりするという効果があります。

学校では、具体的な将来像をイメージできるような学習活動を進めるとともに教育相談等でもキャリア
教育の視点を持って将来の夢や目標と一緒に考えていきます。

今やらないで
いつやるんだ～！

チャンスをつかむために！～3年生のみなさんへ～

勉強は、時間だけ長ければ良いというものではありませんが、学校の授業でわかった!ということを実
自分の力で出来るようになるには、どうしても家庭学習の量が必要になります。部活動や趣味でも「も
と上手くなる」「できなかったことを出来るようにしたい」と思うと、教えてもらうだけでなく、繰り返し自分
で練習するはずですよ。

勉強も同じで、家庭で(自分で)繰り返し問題に取り組むことで出来るようになるのです。そのために
は、やはり時間は必要になります。

また、受検(受験)を意識する学年になると学校の課題にプラスして「自分の課題を見つけ、自分で
勉強する力」が重要になります。与えられた課題だけでなく、「自分で計画を立てて学習する習慣」が
非常に重要です。今一度、家庭生活の時間の使い方を振り返ってみてください。

今回の調査の結果から、家庭生活の学習時間や睡眠時間を圧迫しているのは、ゲームや動画視聴、
SNS などの時間ということが明らかになりました。さらに「スマホの約束」がない?はずはないと思うので
すが…守っていないという回答もあわせると多くの人が約束を意識していないことが分かります。

携帯・スマホの使用時間について脳科学の専門家は研究結果から「家で2時間以上勉強しても、
携帯やスマホを3時間以上触っていると、その学習効果がムダになってしまう」「平日4時間以上使用して
いると学校で学んだことも消えてしまう可能性がある」という仮説を立てています。 <『スマホが
学力を破壊する』(集英社)著者 川島 隆太より>

便利なツールである「スマホを使ってはいけない」というのではなく、同じ使うのでも、脳の活動が低下
する危険性があることや、せっかくだけ努力して学習したことが定着せずに消えてしまうという怖さを知った上で、
誰かに言われるのではなく、自分自身で時間をコントロールできるようになってほしいと思います。

「授業でわかったことができるようになるよう、家庭学習で力をつけよう！」

- ◇自分や現実と向き合い目標を決めよう!(教育相談や校長面談を有効に活用する)
- ◇家庭生活を見直し計画的に勉強しよう!(家庭での時間を書き出してみると無駄が見えるはず)
- ◇スマホの使い方についてルールを決め、使用時間を守ろう!(2時間を超えたら危険!を意識)

*2学期も11月にメディアコントロールチャレンジ第2弾をする予定ですが、それを待たずに1日でも早く自
主的チャレンジを始めよう!…行動にうつすことが、チャンスをつかむ第一歩です。